

幸福実現NEWS

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS [党員限定版] 第66号



幸福の科学 総裁補佐

大川紫央 Shio Okawa



幸福実現党 党首

Ryoko Shaku 釈 量子

「ホンネの政治が、日本を変える。」

～いい国つくろう、女子!? 対談～

2015年2月12日 幸福の科学 総合本部

1969年、東京都生まれ。國學院大學文学部史学科卒業後、大手家庭紙メーカーを経て、1994年、宗教法人幸福の科学に奉職。常務理事などを歴任。幸福実現党入党後、女性局長などを経て、2013年7月より現職。

2月12日、宗教法人幸福の科学・大川紫央総裁補佐と釈量子党首が政治・宗教・歴史観などさまざまなテーマを巡って対談しました。その内容を一部抜粋で紹介しします。

1985年、徳島県生まれ。早稲田大学法学部卒業後、日本銀行を経て、2009年、幸福の科学に奉職。宗務本部第一秘書局長、専務理事などを歴任し、総裁補佐に就任。幸福の科学・大川隆法総裁夫人。

日本独自の歴史観を発信すべき

大川：今年は戦後70周年なので、やはり、日本人は誇りをもって、「そういう歴史ではなかった」と発信しなければ解決がつかないと思います。

釈：いま、中国政府が「南京大虐殺」、「従軍慰安婦」の問題を、ユネスコの記憶遺産に登録申請しています。その可否が今年の夏頃に分かるということです。

今年は特に中国の反日攻勢が非常に強くなるのが予想されます。例えば、「抗日戦争勝利記念日」という日に軍事パレードをすることが発表になりましたが、本来、10年に1回の軍事パレードなので、今年開催されることは異例であると報じられています。まあ、毛沢東の時代には毎年行っていましたので、そういう時代に戻ろうとしているのかなという気がしますね。

日本を「太陽の昇る国」に

—「イスラム国」など、いろいろな問題が



起こっています。今後、国際社会で、日本がどのような役割を果たしていけるのでしょうか。

釈：日本は、本当に「太陽の昇る国」だと思います。この国の素晴らしさを伝えたいですね。

イスラム教徒やキリスト教徒の方々の間に立って手を握り合う時代をつくったり、中国の民主化の活動が幸福な方向に開花するように、世界のリーダー国として希望を与える国になりたいですね。「あんな国になりたい」、「日本人になりたい」というぐらいにまで思っていたらいいなと。「日本が大好きだ」という若者をいっぱい作り、世界中に飛び立っていただきたいと思っています。

日本は世界のなかで輝く国。それが使命だと思いますので、何が何でも、日本を「太陽

の昇る国」にしていきたいと思っています。

幸福実現党の政策は、本当に人を生かす政策

— 総裁補佐からメッセージをいただけますか。

大川：幸福実現党の政策は、「消費減税」「教育改革」「国



司会を務めた七海ひろこ財務局長

防」と、大きな柱が三つありますが、どれも、本当に人を活かす政策だと思います。他党の政策は、何かを無償化するなど、耳あたりがいい政策がたくさんありますが、本来、もっと自分の力を出せるはずが、それを押しとどめる政策になっています。幸福実現党の政策は、あまり耳あたりがよくないかもしれませんが、国民一人一人の力をもっと引き出す精神が入っています。

ですので、幸福実現党を偏見やバイアスをかけて見ないでほしいですね。世界情勢や、今の日本の情勢を見ても、客観的にまともなことを言っています。どうか、一人でも多くの方に、この幸福実現党を知っていただきたいと思っています。

絶賛上映中

幸福実現党の魅力は? 釈党首の人柄って? 本対談でさまざまな話が語られる!

- 政治は相撲!? 釈党首の人となり分かる!
- 大川紫央総裁補佐と釈党首のアルバイト時代の秘話とは? その意外な共通点とは?
- 宗教政党の時代がやってきた!? 「予定調和」では解決できない事態にどう取り組む?

本対談(81分)は、幸福の科学の全国の精舎・支部・拠点で開催中。ぜひお早めにご覧ください!

お近くの幸福の科学



世界ウイグル会議 議長

ラビヤ・カディール

1948年、東トルキスタン(現・新疆ウイグル自治区)生まれ。事業で成功を収めるが、政治犯として6年間投獄され、2005年に釈放後、アメリカに亡命。現在はワシントンD.C.を拠点に、自由と独立を求める民衆運動の指導者として活動している。ノーベル平和賞に7回ノミネートされている。

中国政府に蹂躪されているウイグルに自由を

釈党首とも対談を通じて親しいウイグル独立の指導者ラビヤ・カディール氏が来日。ウイグルが向き合っている現実や、平和へのメッセージについて聞きました。

—昨年7月、ウイグルのカシュガル地区ヤルカンド県で、多くのウイグル人が亡くなられたと聞きます。

ラビヤ この事件について、中国政府は、「ウイグル人が公安施設などを襲い、多くの漢人を殺したテロ」と発表しています。しかし事実は違います。

事件が起きる少し前の夜、多くのお年寄りのご婦人が集まって祈りを捧げていた民家に、中国の警察や軍隊が押し入って、彼女たちを皆殺しにしたのです。怒った地元の村人たちは政府への抗議活動に立ち上がりましたが、その村人も虐殺されました。

現場近くに住む22歳の男性が、この事実をインターネット上で公表し、約2千人が殺されたことが分かりました。

—中国政府が発表するウイグル人の「テロ」は、テロではないということですね。

ラビヤ 2014年には、37回の虐殺が起きて、その中で3千人ちかいウイグル人が殺害されています。今わたしたちは中国の共産党政府の弾圧に、さまざまな国の人々と手を取って戦っているわけです。

—中国政府は、そういう人々がつなぎ合う手を分断しようとしします。ですが、幸福実現党は、分断されるのではなく、結びつき合う方向で活動していきたいと思います。

ラビヤ ウイグル人は66年間、「嘘と暴力」にさらされてきました。日本をはじめ世界中の人々が、この状況に声を上げてくださることを期待しています。

今こそ、日本の誇りを取り戻せ！

自虐史観の払拭に取り組むトクマ青年局長に、その思いを聞きました。

歴史を知れば、日本への見方が変わる

今年は戦後70周年です。戦後史の見直しの動きもあるものの、先の太平洋戦争で「南京大虐殺」や、いわゆる「従軍慰安婦」など、日本が悪いことをしたと思う人は多いかと思えます。

かく言う私も、そう思っていました。ですが、大川隆法総裁の書籍や、渡部昇一氏、櫻井よしこ氏の著作を読み、私の歴史観は180度ひっくり返りました。

例えば、先の大戦で、日本は人種差別撤廃のリーダー国として、東アジアを欧米の植民地から解放したこと。アメリカは民間人や民間船をも攻撃していましたが、日本軍はそうしなかったこと。終戦後、昭和天皇が、自分の身よりも国民を救ってほしいと言ったことが、マッカーサーを感動させたことなど、日本が武士道精神の国だったという事例は枚挙に暇がありません。

また、「南京大虐殺」は、アメリカなどの戦勝国がでっち上げたことが分かっています。戦後、アメリカが意図的に、日本人の戦争犯罪を吹き込んできたのです。

こうした歴史を知るにつけ、日本人が日本に誇りを持って



尖閣諸島魚釣島で祈りを捧げるトクマ

ないことはとても悔しいです。2012年に私は、尖閣諸島に上陸しましたが、

その背景には、やむにやまれぬ気持ちがありました。

若者たちが日本に誇りを取り戻してほしい！

私はアーティストでもあるので、音楽でもメッセージを発信しています。最新のCD(右下参照)では、「正しい歴史観を知り、先人や神仏への感謝を思い出してほしい」というメッセージを込めました。また、音楽や映画で、自虐史観を払拭するイベントも行います(右下チラシ参照)。

母国への誇りを持つことは、自分自身への誇りを持つことと同じです。だから、若い人たちには、ぜひ日本への誇りを取り戻してほしい。日本人として胸を張って生きてほしい。一人一人が自立して、国家や神仏のために生きる、立派で創造的な人になってほしいと思います。

今、中国政府は、「南京大虐殺」「従軍慰安婦」をユネスコの記憶遺産として登録申請をしています。私は、これは中国による戦争の前哨戦だと思っています。もし、これが通れば、全世界に日本人のネガティブイメージが定着し、「日本は中国から何をされても仕方ない国だ」と思われるようになるからです。日本の誇りを取り戻すためには、戦わなければならないときもあります。幸福実現党では、こうした動きを断固阻止するために署名活動を行っています。ぜひ、若い人からも声を上げ、署名活動に参加してほしいと思います。



青年局長 トクマ

1966年、東京都生まれ。青山学院大学入学、バンド活動開始。1989年、卒業後単身渡米。1991年、トヨタ入社、半年後退社し、作詞作曲活動をはじめ。2012年9月18日、尖閣諸島魚釣島に上陸。2012年10月より現職。

CD New Releases



トクマのニューシングル「ありがとう」(Amazon、タワーレコード等で予約可能)

トクマのライブ・イベント「ワクワク日本大戦戦!!」(3/25 代官山 @晴れたら空に豆まいて)



「中国によるユネスコ記憶遺産への申請抗議署名」の締切迫る！

【最終締切】

3月24日(火) 必着

幸福実現党では昨年7月より、中国政府による南京事件と慰安婦問題に関する資料のユネスコ記憶遺産への登録申請に抗議する署名活動を展開しています。

署名用紙は党公式ホームページからダウンロードできます。署名は党本部にて取りまとめ、内閣府を通じて内閣総理大臣宛てに要請を行う予定です。署名用紙は下記の締切日必着で党本部に送付ください。



【署名送付先】

幸福実現党本部
〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-8
電話 03-6441-0754



幸福実現党

検索